

第9回議会報告会 事前質問一覧（各議員回答）

質問事項	回 答
<p>1 何故議員さんになろうとしたのか。</p>	<p>多数あるが、その一つは杜撰な街づくりを何とかしたいとの思いで。街づくりは都市発展の基礎である。JR新駅周辺のまちづくりを成功させなければならないと考えている。</p>
	<p>地域や地元へ貢献し、もっと住みやすい奈良にしたいと思ったからです。</p>
	<p>人生の分岐点を過ぎて楽しく思えることにチャレンジしようと考えて奈良市を良くしたいとの思いで</p>
	<p>様々な理由がありますが、コロナ禍で暗い世の中が続いている中、将来が不安という若い声もよく聞いていた。それであれば若い政治家もいた方がいいのではないかと。若いからこそできることもあるのではないかと。市民感覚は大事です。新しい風を吹き込んでいきたいと思っています！若い人たちが行政や政治に対する期待を諦めないでほしい！と思い、チャレンジすることを決意しました。</p>
	<p>病院で働いていた時に、病気を抱えて生活に困っている患者さんにたくさん出会いました。この方たちを支えていくのが政治の役割だと思いました。それで議員になって困っているみなさんに寄り添える政治を作っていきたいと思いました。</p>
	<p>平和な社会、男女平等の社会、労働者が使い捨てにされない社会、安心して子どもを産み育てることができる社会を実現するため</p>
	<p>住民や市民の意思が市政に反映しているのかと疑問を感じていたため、政治と行政改革が必要と感じたから</p>
	<p>教育の充実に取り組み、子供たちの将来に貢献できると思ったから</p>
	<p>一市民として問題提起してもテーブルに乗らない事や実現しない事項を議員という立場であれば市民の声を行政や政治に届ける事が出来、実現に向けて動きをかける事が出来ると感じたから。</p>
	<p>子どもと関わる仕事をしていたため、子どものための政治の必要性を感じたから。</p>
	<p>皆さんが、おして下さり、皆さんのご期待にお答えしたい。</p>
	<p>奈良市がもっと住みよい市となるよう貢献したいため。</p>
	<p>奈良市において、地域福祉・地域防災・子育て支援の政策を充実させ「ふれあい、支えあいのまちづくり」を進めるためです。</p>
	<p>自分の生きていく中の使命は ①家族を守る ②子供の未来を守る ③若い人が生き生きと暮らしていける この3つをやっていききたいと20代で思い、行政通じてやりたいと思ったから。</p>
	<p>これからの未来を担う子ども達が安心して暮らせる社会を作りたい。</p>
	<p>地域の課題が多く、解決に導く為に活動がしたいと思ったから。</p>
	<p>子どもの頃から、父親が働き、母親が専業主婦という世の中が、おかしいと感じていましたが、特に20代の頃にしたアルバイトで、同じ仕事をしているのに、男子の方が時給が50円多く、おかしいと思いました。女子数人で店長に会いに行き、「なぜ同じ時期に入って同じ仕事をしているのに、男だけが50円多いのか」と質問しました。すると「男だからだ」と言われました。何が何なのか納得できませんでした。20代半ば、世の中はフェミニズム・ブームと呼ばれ、あちこちに女性の権利を訴えるNPOが立ち上がっており、私もいくつかのNPOに所属。女性達は「もっと女性の議員が増えないといけない」とロク々に言っていました。1996年でしたか、知り合いの女性から「女性を議員にするための学校を立ち上げるの。あなたも若いから入りなさい」とチラシを渡され、入りました。「女性を議会へ！バックアップスクール関西」でした。そこで同じ考えを持つ多くの女性達と出会い、ともに学びました。共に学んだ女性達は今、多くがあちこちの自治体で議員になっており、議長や副議長になった人もいます。私も2009年に初当選し、議員を続けています。</p>
<p>子どもが学校の先生方に変え良くして頂き、先生方がもっと「楽に」働ける環境づくりに関わりたいと思ったこと。また、女性の活躍を後押ししたいと考えている中、当時、奈良市議に20～40代の女性がおらず、ダイバーシティの観点から大変違和感を覚えたため。</p>	

質問事項	回 答
	<p>地元奈良市のまちづくりに、議会を通じて関わりたいとおもいから立候補を決意しました。</p> <p>古いことで記憶にないが、当時「奈良に夜間中学を作る」活動をしており、その延長かな。</p>

質問事項	回 答
2 議員さんになって得する事と損する事はあるか。	議員個人で得があってはならないし、個人の損得勘定は行なってはならないものと決意している。
	得をするとか、損をするとかはありませんが、市議会議員であれば4年に一度の選挙があるので、生活設計が建てにくいですね。
	政治が身近になった、損は特にありません
	損得勘定で議員をしていないのが前提。考え方はそれぞれの考え方と思います。議員が偉いということはないが、議員であれば話を聞いてもらえる可能性は高いかもしれない。
	また、良くも悪くも表に立つので人の目を気にして生きていかなければならない。
	得したことは、いろいろな人と会えることです。市役所の中でいろいろな仕事を担当している方や、地域の住民のみなさんにいっぱい会って、いろいろなお話を聞くことができます。損したことは、？特にはないです。
	得をすること、損をすることは特にありません。
	様々な分野について知ることができる。 損することは思いつかない。
	損得で議員の職責についていませんが、あえて言いますと「得」は、市井の声を身近に聞かれることで、「自分のやりたい事」や「やらなければならない目標」が明確になること。議員という肩書があることで、相手から「先生」という名詞を付けられ、一部ではあるものの住民や市民からの「距離感」があるときに「損」をしていると思います。
	損得で判断した事はないですが、得する事と言えば日常生活に絡む様々な分野の改善に向けて携わる機会がある事。
	損得で考えたことはありません。
	そんなこと、考えたことはありません。
	損得は、特にありません。
	損得は特にありません。
	得すること、こんなクリエイティブな仕事はないと感じること 損すること、いい意味でも悪い意味でも目立つ
	市の仕事をより身近で知ることが出来る。
	自分がしたい仕事ができる楽しい。得とか損とかは興味が無い。損とか得とか考えて動くような人は、この仕事はやるべきではない。
	得) 各地の多くの方とつながりを持ったり、貴重なお話を伺う機会を頂けること。奈良市のしくみやあり方を、直接、市の職員から聞けることは、役得。 損) 寄付行為はNGなので、プレゼントや挨拶状など、ちょっとしたやり取りに気を使う。
	得したことは、自分の考えを議会で訴えることができたことです。損したことは、特にありません。
	特にはない。
何をもって損・得とするのかこちらから聞きたいが、いわゆる損・得で出来ることではない。損得勘定を考える人は議員になるべきではない。	

質問事項	回 答
3 議員さんになってから行った政策はなにか。	多数あるが、その一つは国民健康保険の高額療養費の支給手続きの簡素化 市民の方から提案があり担当課に働きかけ実現
	まだ1年目なので特に行った政策はまだありませんが、議員定数の削減など行財政改革に取り組みたいですと思っています。
	中学修学旅行のキャンセル料を市が負担する事業、歌姫公民館分館の耐震補強の事業開始
	日本維新の会に所属しているため、維新が掲げる政策を市政でも反映できるよう努めています。
	いつも気にかけていることは、生活に困った方が生活保護を受けられるように配慮をしています。あとは、病院でコロナ対策の仕事をしていたので、新型コロナ感染拡大への対策として、保健所の職員さんを増やしてもらったことです。
	①「ミス奈良」の呼称を変えることができた ②中学校の男女混合名簿を実現 ③飼い主のいない犬猫の不妊去勢手術への支援 ④同性パートナーシップ宣誓制度 ⑤学校給食の食材廃棄をなくす ⑥公立保育所の環境改善
	市民や児童生徒の読書活動の推進、防犯対策、環境対策
	子ども・若者の切れ目ない支援の構築を可能とする体制整備を推進。障がい者や高齢者などの自己決定を支援する権利擁護を推進。議会改革の一環として、議会基本条例と政治倫理条例の制定過程に深くかかわる。また、議員の第2のお財布と揶揄される政務活動費の適正支出と透明性を図るため、使途基準の厳格化と領収書添付、報告書類の統一化とインターネット公開を推進。
	地域の中から提起された安全対策。、
	子ども若者支援(子ども貧困対策・発達障がい児支援・若者支援等)、5年間の橋梁点検を推進、等。
	多胎妊婦健診助成金の拡大
	学校環境の充実。
	3. 地域福祉、地域防災、子育て支援の政策。
	ないです。間接的に関わってはいますが、基本的に市役所側が提案するので。
	コロナワクチン接種体制の改善。
	危険個所の信号の設置・都市計画に基づく各方面への連携等
・母子家庭の貧困を解消するため「奈良市母子家庭父子家庭等自立促進計画」を作った。 ・女性が貧しいために子どもにまで影響する「子どもの貧困」対策として、学童保育の給食を実現した。他	
学童保育指導員などの給与UPは、議会が会派を超えて、行政と共に一丸となって取り組んだ政策の一つ。その一端を担えたと思う。ただ、政策の実行は行政側にあり、実現のタイミングもあるため、「議員の実績」というより「行政のおかげ」。	
自分の関心のある分野、子育てや福祉について、議会活動を通じてより良いものになるようにと訴えています。議会の仕組みから議員ひとりの力で政策を実現していくことはたいへん難しいですが、関係各所と協力しながらより良い奈良市政を目指し活動しています。	
防災、街づくり、を中心にそのための財政対策を提言。	

質問事項	回 答
<p>4 議員さんの活動を家族は理解しているかどうかききたい。</p>	家族の理解があってこそ活動に力を入れられると考えている。
	ピラ配りを手伝ってくれたり、ある程度は理解してくれていると思います。
	息子一人ですが理解しているかどうかは分かりませんが応援はしてくれています。
	自分の思いを理解してもらい、協力してもらっています。
	家族（相方）には理解をしてもらっています。息子は理解しているかは聞いていません。
	家族には立候補の時に理解を得られるように話をしたので、最初から協力的です。
	どこまで理解しているかということはありませんが、何かあれば協力をしてくれています。
	理解してくれている
	苦労も多いと思いますが、理解と協力なしには出来ない。
	理解している。
	理解して、応援してくれている。
	理解している。
	1. 理解し、協力してくれています。
	うちの妻は理解していますが、妻も仕事内容とか理解していないと思います。また、子供には市議であること無視されていますw人気ない仕事やねんと思います。
	ありがたいことに全員が理解してくれている。
	理解している。
	父母は既に他界してるが、元々、姑が政治に関心が高い人だったこともあり、夫や姑が選挙のたびにポスター貼りをしてくれる等、全面的に協力してくれる。子どもも常に応援してくれる。
家族が立候補を後押ししてくれた。一度の人生なので、やりたいことをやれと言われる。実家の両親は当初戸惑っていたが、今は応援してくれている。	
皆のために頑張りなさい。やりたいことをやりなさいと後押ししてくれています。これはとても幸せなことだと家族に感謝しています。	
理解してくれている。	

質問事項	回 答
5 政治家ってそもそも必要かどうか。	政治は弱者の救済や将来でも安心安全で暮らしていくためのもの。必要である。
	国会議員や地方議員、それぞれのエリアや範囲の中で、行政の独断や専攻がなされず、公正なサービスを提供されていくべく、そのチェックや意見を述べたり、市民の思いを伝え、市政に役立てていく等の役割を担う人は必要と思う。
	国民や市民全員の意見を聞くのが一番良いと思いますが現実不可能なので代表を決めその代表が全体の意見として賛否を決定することで物事を進める為必要だと考えます。
	必要であるが、存在意義・あり方は変えていく必要がある。政治家はあくまで、市民から投票によって選ばれたメンバー。市の決め事を毎回市民全員に問うことや、住民投票をしているとお金も時間もかかります。政治家が市民の皆様の意見を聞いて、市政に反映させる、または自発的に研究したことをもとに発言することで市をよくできる為必要です。しかし、人数は39名もいません。
	私は必要だと思っています。市民・国民の声を代弁するためには政治家が必要だと思えます。
	自治体職員だけで行政を行うことができても、社会の変化による困難を解決するため政策提案をするのが議員の仕事で、なくてはならないものです。
	日本は、議会制民主主義を採用しているので必要です。国民や住民に主権はあるものの、行政機関の制度と施策が住民ニーズや実態にあっているのかどうか、そして、そのニーズを行政政策や施策に反映させるという過程においては、多様性を有している住民ニーズを尊重しながらも、多様な意見の合意形成を図らなければなりません。その意思の決定過程において、すべての住民や市民が参画すると結論を得るのに時間がかかりすぎてしまう課題もあることから、政治機関を設けて議論をし、完全に合意できない場合は、賛否を問うて結論を得るという過程で政治家が必要となります。
	首長や行政をチェックする機能は必要
	国民、県民、市民の全体に関わる問題を収めていくために必要です。
	市民の声を政治に反映させるために必要。
	必要と考える。
	必要だと思えます。
	個人的にはこんなにたくさんいらないと思います。ただ、0がいいかとなると、それはまだ難しく、最低限は必要かと。
	1億2千万人集まって話し合いをして、多数決で物事を決めるのは物理的に不可能なので、民主主義社会では必要。
	必要
	社会に関心があり、変えたいと思う人は常に一定程度いる。議員にならなくても、議員に協力して社会を変えようとする人もいる。そういう人が集まる場所として、議員がおり、皆の意見を代弁する立場としての議員は重要。
	知識・情報量という意味でも技術的にも、市民皆が声を上げ、平等に届く仕組みがあれば要らないと思うが、少数派、社会的弱者などの声が届きにくい現状では、必要。
市民（県民・国民）の皆さまの思いや願いを反映させていくために必要だと考えます。そのためには市民感覚を持つ政治家を選んでほしいと思います。政治家の不祥事等の多くは市民感覚の欠如からおこるものだと感じています。	
不要だと思いますか？みんなが参加できればいいが、そんな方法がない。日本国憲法では権威は国民に由来し、権力は国民の代表者が行使し、その福利は国民が享受するとされている。	

質問事項	回 答
<p>6 議員としてどのような社会貢献ができているのか。議員でしかできない社会貢献とはなにか。</p>	<p>行政を監視し市民の皆さまが暮らしやすい環境とすること。 思い当たらない。議員に出来ない社会貢献はある。</p>
	<p>議員には市民を代表する機関として、条例の制定、改廃や予算を定めたりする議決権、調査権や検査権等の権限があります。社会貢献と言われればまた違うかもしれませんが、こう言った権限を有効に活用し市民方々か暮らし良い社会になればと思っています。</p>
	<p>条例を提案し制定することで市民の利益に貢献できると考えます。</p>
	<p>自分の為の仕事ではなく、社会のために力を尽くしていますので、税金を無駄遣いしなければ、全てが社会貢献であると思っています。 思っているだけでは形にできないことも、議員であれば一人一人議決権を持つため、市の方向性を正すことは議員にしかできないかもしれません。</p>
	<p>今、コロナ禍で生活に困っている方や、将来に不安をもっているがとって増えておられます。奈良市の社会保障制度をよりよくして行き、奈良市民が安心して暮らせる奈良市を作って社会貢献としたいと思っています。</p>
	<p>私利私欲のためにやっているわけではなく、議員活動がそもそも社会貢献です。</p>
	<p>概ね、「5番」でお答えした内容に通じると考えます。</p>
	<p>住民にとって有益な政策を提案し実施することができること。</p>
	<p>市においては、市の行政に携わる市長部局と議会とが車の両輪となって決定していく為の重要なチェック機能がそのまま社会貢献につながると考えています。</p>
	<p>1人のお声から市民全体に関する政策が実現できること。それが議員の使命であると考えられる。</p>
	<p>社会貢献できている。行政の手が届かない人の支援や地域の課題の解決など。</p>
	<p>6. 政策の実現に尽きると思います。</p>
	<p>市全体、不特定多数のたくさんの人に貢献できる仕事であるのは間違いないと思います。</p>
	<p>議員にしか、ということで考えると、条例(市独自のルール)作りを行う事だと考えます。</p>
	<p>住民ニーズに基づく、適切な税の使い方への意見を述べる</p>
	<p>市民が願う社会を実現しようとする活動を実際にできること。</p>
	<p>議員としてできる社会貢献は議会を通じてひとつでも多く、市民の皆さまの声を発信し、形にしていくことです。これは議員でなければできないことです。</p>
<p>日々の生活の中で、身の回りの人の生活に寄与することも、奈良市の進む方向性を作る一端を担うこともできると思う。議員にしかできないことは、立法。方向性を決めていくこと。</p>	
<p>質問の趣旨がよく理解できないが、良心に基づき行動することで、社会貢献できていると思う。議員にしかできないことなど何もない。</p>	

質問事項	回 答
7 議員をやっている、一番理不尽だと思っことは何かあるか。	複数あるが皆さんに分かり易いことを挙げれば、公共交通の空白地に子どもセンターが建設されたこと。
	特に、ありません。
	本音と建前で物事が決定されてしまうことがあること
	最高裁判決が下りてからも開き直って市長を務められていること
	市民のためにならない政策を、国から施策を下ろされて跳ね返せなかった時です。
	駅立ちの時など、一方的に言いがかりをつけてくる人がある。
	多様な意見の合意形成を図るのが議会であり、その構成員であるのが議員です。その議論の過程で総論賛成・各論反対や結果的に市民や自分の考えている結果とならなかった場合などは残念な思いがします。
	特に無し。
	権力を笠に着て弱者を食い物にするような政治家や地位の高い立場にある人と接した時。
	議員一人一人の取り組みを知らず(知ろうともせず)に勝手な評価をされるとき。多くの市民の方に議会について、もっと知ることをしていただきたい。
	特に、なし。
	特にありません。
	ありすぎてちょっと書けないです。
	何にするにしても時間がかかる。会派の力。
	特に感じていない。
	無い。理不尽だと思う人はこの仕事をやるべきではない。
	「会派制」という議会運営の方法。効率的な一方で、市民の声を届けるための議会なのに、その中でさえ、一層、声が届きにくい仕組みだと思ふ時がある。理不尽ではないが、複数議員が同じテーマを取り上げる際、市の担当職員が何度も同じ内容で打ち合わせをしたり、「異なる質問」にアレンジする工数は、無駄だと感じる。
たくさんあります。世の中にある理不尽をひとつずつ解消していくことが議員の仕事だと思います。	
この世はまあ理不尽なことが多いかな、即答は避けるが。	

質問事項	回 答
<p>8 議員をしてや りがいを感じ る瞬間はある か。</p>	多くの市民の皆様喜んでいただくことができたとき。
	市民の方々からのご意見や要望を聞き、それが叶い「ありがとう」と言ってもらった、嬉しいですね。
	相談を受けたことが良い方向に向かいありがとうと言ってもらえた瞬間
	市民の方から、直接激励をもらったり、市の改革に期待される時
	やはり、生活が苦しくて困っていた方の生活を支えられた時です。
	市民から「ありがとう」と感謝される時。
	あります。政策や施策が実ったときや、市民からの相談を受けて、困りごとが解決した時などです。
	住民の意見を自分なりに行政に反映できた時。
	本当に困っておられる市民が適切な支援体制を構築した事によって生活が改善されたと感じてもらえた時。
	上記でも述べたが、自分の取り組みが市民の皆様にとっての良い政策に繋がった時。
	皆さんの声が、政策実現したとき・
	市民からのご相談が解決し、喜んで頂いた時。
	8. 瞬間というよりは、議員活動全般にやりがいを感じています。
	地域の方、市民の方々の直接の声を聞き、お役に立てたと感じた時はとてもやりがいを感じます。
	少しでも奈良市にとって有益な方向に市政が進んでいった時。
	常に責任感を感じているので、特別に感じない。
	議会で求めていた課題が実現した時。例えば新斎苑が実現したこと等。
	自身の信念に基づき判断・推進しているテーマに、多くの市民や市職員の賛同を得られ、一緒に物事を進められたとき。簡単なことであっても、取り組みが実現し、市民の方に感謝の気持ちを伝えていただけたとき。
	最もやりがいを感じるのは市民の皆様から、あたたかいお声をかけていただいたときです。これ以上の喜びは他にありません。
	日々やりがいと・無力感を交互に感じながら活動している。

質問事項	回 答
<p>9</p> <p>ポイ捨てなど、議員自身はどのように考えているのか。ポイ捨てる人を見かけたらかうするか。</p>	<p>多くの市町村が条例で全域ポイ捨て禁止としているのに、奈良市は一部区域でしか適用していない不思議な市です。 全域にするように求めています、理解のできない理由を付して抵抗されています。 注意するときもあれば見過ごすときもあります。</p>
	<p>環境汚染の問題、マナーやルール違反の観点から容認できる事柄ではありません。</p>
	<p>ポイ捨ては許される行為ではないが見て見ぬふりをして見過ごすこともまた残念に思う、注意する事や捨てられたゴミを拾う気持ち持てばポイ捨ては減るのではないかと思う。</p>
	<p>ポイ捨ては軽犯罪法など様々な法に触れる可能性があります、一人一人の意識が変わらないと変わらないと思います。奈良は鹿もいますので、シンガポールのようにもっと規制を厳しくしても良いかもしれませんが。見かけた場合、全て指摘することやゴミを代わりに捨っているとキリがありません。状況にもよりますが、道路の危ないゴミの場合は処理することはあります。</p>
	<p>もちろん私はゴミのポイ捨ては絶対にいけないと思っています。ポイ捨てを見かけたときは「落とされましたよ」といって拾って返します。</p>
	<p>駅までの道筋で、たばこの吸い殻やマスク、ペットボトルを捨てています。道路はゴミ箱ではないし、一人一人の心がけで随分ときれいになります。</p>
	<p>ほぼほぼ街にポイ捨てするのは大人です。河川清掃を毎月1回行っている経験に基づいてお答えすると、大人は子どもに何を残すのだろう、何を教えられるのだろうと思い悲しくなります。ポイ捨てする人を見かけても注意をすることはしません。今の時代は事件事故につながる怖さがあります。</p>
	<p>防止すべき行為である。個人的に議会で取り上げてきた。ポイ捨てする人と場合によって対応を考える。</p>
	<p>当然すべきでない事ですが、ポイ捨てする人はどこにでもいます。子どもであれば教育の問題ですが、大人の場合は制度の問題として対処すべき。見かけたら注意したいが、したことはない。</p>
	<p>ポイ捨ては許せない気持ちです。一人一人の認識・取り組みでごみは発生しないはず。</p>
	<p>ポイ捨ては良くない。自分のゴミ等は自分でする。</p>
	<p>人としてのマナーを守って欲しい。直接見かけたら、注意する。</p>
	<p>1. 絶対にポイ捨てはしません。 見かけた場合の対応は、ケースバイケースです。</p>
	<p>ポイ捨てする人はその人の倫理観の問題であると思います。</p>
	<p>ポイ捨ては間違いなくダメ。見かけたら、注意して、拾わなければ自分で拾います。</p>
	<p>注意しない。モラルの問題に対してかける言葉はない。</p>
	<p>心の貧しい人がするのだと思うが、その貧しさは実際の生活の貧しさからくるのかも。市民生活が豊かになるよう努力したい。</p>
<p>ポイ捨てする人の気が知れない。しかし、事実、あるため、「議員としては」ポイ捨てが無くなる仕組み、モラルを培う教育を作らなくてはならないと思う。先日、公園で子供たちがお菓子のゴミを捨てたので「私、ゴミ拾いしてるねん。捨てないで、もらうから。」と声をかけた。大人のポイ捨て現場を見たことはない。人が見ていたらやらないのであれば、人が行きかうまちづくりが有効かも。</p>	
<p>私はポイ捨てをしません。私自身、美化活動や自然保護活動に携わっており、こうした行為には強く反対します。止めてほしいという気持ちでポイ捨てする人に声をかけたこともあります。</p>	
<p>注意するが、その前提として我が身の安全を確保する。そのためには、正義の協力者が必要だ、あなたも協力者になってください。</p>	

質問事項	回 答
10 休日にやっていることはなにか。	議員は常勤ではないので定められた休日はない。しかしながら市役所が閉館となっている時はできるだけリフレッシュするように努めている。
	農家でもありますので、農業関係の作業を行ったり、自治会の役員もしておりますので自治会活動を行ったりもしています。
	議員に休日は無いと考えますが空いた時間には土をいじることや趣味の料理をしています。
	議員に休日という概念はありません。土日は意見収集で人と会うことや、調査研究に時間を使っています。
	趣味の古墳めぐりと愛車でドライブです。
	読書、本屋さん、お菓子づくり
	カレンダーの休日と言っても住民相談や会議、会合などの仕事や大学の勉強などがあります。こういったなかでも、月1回の河川清掃や時々ジョギングで汗を流します。
	完全休日という感覚はない。時間的に余裕があれば趣味の読書。
	制度上、議員の休日はないが、裁量労働の中で調整しながら自己の健康管理や人との交流を図っている。
	公人には休日という概念はなく、公務・政務・党務とほとんど休みのない日を過ごしている。
	公務、市民相談等で動いている。
	個人の学習、家庭サービス、市民相談など。
	2. 地域活動、ボランティア活動、読書、イベント開催、ウォーキング、などなど。
	ゲーム、読書（小説）
	子どもと遊ぶ。それ以外は鬼の筋トレ。
	特にない。
	たまった仕事や用事、子どもの相手とか。
	最近は読書。夜中にビール飲みながら、撮り貯めたドラマを見る。まとめて食料調達と一週間のご飯の作り置き。
	できる限り地域の皆様と意見・情報交換をしたり、関心のあることについて学んだりしています。
	趣味に時間を使いたいが、本当の意味での休日は、リタイヤしてからかな。

質問事項	回 答
11 今、学生にしかできないこと、しなければいけないことはなにか。	しっかり勉強してください。学問だけではなく専門的な技術を取得することも大切です。
	学生にしかできないことやしなければいけないことについて、これと言えものはないのですが、やはり本分である勉強はしっかりと行っていただきつつ、社会人になると、なかなか時間も取れず仕事に追われてしまう事が考えられますので、興味を持ったことは積極的に調べたり足を運んだり経験したりしてみるのも良いかと思ひます。
	できるだけ多くの人と出会い会話し繋がりを増やしてください。
	学生の特徴としては「時間」があると思ひます。将来何をしたいかを見据え何か一つでいいので自己研鑽の時間に使ってもらえればと思ひます。また、社会に出ると一定のコミュニティに限られる人が多いですが学生というだけでコミュニティがある。将来に役立つ人脈の輪を広げておくことをオススメする。
	自分の周りにあるおかしいと思ひたことや不満を飲み込まないで、疑問をもってほしいと思ひます。学生でなければ気づかないことがたくさんあると思ひます。政治が変われば、学生に限らず、みなさんのお母さん、お父さん、おばあさん、おじいさんのくらしがとつても良くなります。みなさんの不満を政治にぶつけてほしいと思ひます。
	いろいろ本を読んでください。特に社会科学の本、世の中の仕組みがわかる本。
	「批判」と「非難」の違いを学んでいただきたいですね。学生の特権は純粋に批判ができることと思ひます。
	多くの友人と友好関係をつくること。
	勉強する事を本業とする時間が与えられているという非常にありがたい期間である事を踏まえて、知識の吸収、人脈の拡大、興味分野の経験など。
	若者の声が生かされる社会の実現のため、ぜひ多くの若者に、政治に関心持ち政治参画してほしい。
	地域との関わりやボランティア活動など。
	3. 困れぞれだと思ひます。実際に対話すれば、アドバイスできることが浮かんでくるかもしれないです。
	学生にしかできないことはないかと思ひます。やる気になれば、社会人になつても、おじいちゃんおばあちゃんになつてもできると思ひます。
	たくさん遊んでいろんな経験して、何でもいいから挑戦してみた方が絶対に良い。
	社会との接点をできるだけ多く持つてほしい。
	勉強すべき。社会に出たら、勉強する時間が取りにくくなるから。
	若いということには無限の可能性があります。やりたいこと、興味のあることにはどんどん関わつていくと良いと思ひます。自ずと道が拓けるはずです。
友達をたくさん作り、たくさん楽しむ！できれば、自分と興味関心、進路の異なる友達が多くいれば尚よし。ただし、人脈のために友達を作る・選ぶのは、学生時代はお勧めしない。	
遊ぶこと、いろんな経験を積んで、「しなければならぬこと」を自分で見つけてください。	

質問事項	回 答
12 私達が日常の中でも取り組めることは何か。	政治に無関心でも無関係ではられません。政治に関心をもっていただくこと。
	人によって様々かと思いますが、ごみの分別を心がけてたり、高齢者や小さい子へのさりげない気配り、配慮等を日常の中で心がけて見てはいかがでしょう。
	困っている人がいれば助ける事、ゴミを見つけたら拾う事など見て見ぬ振りをせず周りを見渡す心を持って誰かの役に立って喜んでもらえる嬉しさを感じる事
	ジャンルによりますが、いくらでもあります。例えば環境破壊が進んでいるので環境再生・保全活動はお金もかけずにできることです。
	自分の周りにある「おかしい」と思うこと「変だな」「納得できない」と思うこと、「こうなったらいいな」と感じていることを、我々政治家にメールやSNSで届けてほしいと思います。
	議員インターンシップで活動してみる。新聞を1面から読む。
	考えることと、考えたら行動に移すことかと思います。
	何についてかな？
	是非とも政治に目を向けて世の中の動きに関与していく事。無関心が一番問題です。無関心の人が増えると政治は腐敗していきます。
	まずは、政治に関心を持っていただくこと。声を上げて頂くこと。私たちはいつでも若者のお声を聴く準備はあります。
	自分ができることをする。
	地域との関わりやボランティア活動など。
	学生のときに好きなこと、得意なことを見つけ、それが仕事に繋がるといいですね。
	人生は2回あると思って生きてる人が多いので、一度きりしかないと認識してちゃんと色々チャレンジしてほしい。
	市民だよりが来たら見てみる。必ず投票に行く。
	問題意識を持ち、広く情報を取るようにすること
	報道等をしっかり把握し、今の自分がどういう位置に置かれ、何ができるかを見つめること。
	日々「何ができるか」考え、まずは始めること。関心のある分野の議員や担当職員、専門家に思い切ってアプローチしてみる。「今の」自分の困りごとや不安を、ストレートに発信すること。
	政治家に対して、日々の素朴な疑問を投げかけてみてください。答えからその政治家の考えや立ち位置がわかります。そして自分の考え方に近いなあとと思ったらその政治家を後押ししてみてください。きっと政治が身近になるはずです。
	(参政権)に関していえば、新聞やその他のメディアを活用して、社会の動きに関心を持ち、選挙の投票行動で示してください。

質問事項	回 答
13 今後の奈良にとくに必要だと思うことは何か。	産業、働き場所、若もが集う商業施設
	全国的に少子・高齢化が進む中、税収増を図るためにも産業の育成や、企業の誘致等、収入を増やす方法を考えていく必要があると思います。
	強い発信力
	改革。体質が古く現状のままを望む方が多いですが、このままでは将来大変なのは今の若い方々です。また、歴史や文化を大事にしながら新しいものをどんどん取り入れていく必要があると思います。
	奈良には豊かな自然や文化があります。しかし、一方で医療や福祉などは十分とは言えません。奈良にしかないものを活かしながら、こどもから高齢者まで安心して住める街にしていきたいと考えます。
	奈良市にあっても人口減少が喫緊の課題になっています。若い人たち、これから子育てしていこうという人たちにとって魅力的な町にしていかなければなりません。そのためには、若い人たちが自分の意見を積極的述べるのが大切です。気軽な気持ちで政治について発信することは、奈良の未来にとって必要なことです。
	歴史を感じさせる風景を守るために景観を大事にする。建築物や屋外広告の規制を強化する。
	包括的で恐縮ですが人を育てる環境(生活環境、文化、教育、自然環境、インテリジェンス)を守り創ることと思います。
	大震災への各家庭の備え。(旧耐震家屋が多い。)
	文化遺産の継承と新しい文化の開拓の両面が必要。
	人口減少・少子高齢化時代を迎えるため、協働のまちづくりは必須になってくる。
	若い世代で、奈良市の為にアイデアが豊富な、人材。
	文化遺産が数多く残り、自然が豊かな奈良の良さを失わないことだと思います。
	人口増やすこと。別に働く場所はどこでもいいと思うので、とりあえず住む場所を選ばれることを考えるべきだと思います
	企業誘致、現役世帯が選びたいくなるような魅力の創出。
	奈良市の特性を生かした街づくりを行うこと
	子どもが安心して暮らせること。奈良でも働ける場所が増えること。
	フェアなマインド、市民の経済的自立、自己肯定感・効力感を育む教育。
奈良市にあっても人口減少が喫緊の課題になっています。若い人たち、これから子育てしていこうという人たちにとって魅力的な町にしていかなければなりません。そのためには、若い人たちが自分の意見を積極的述べるのが大切です。気軽な気持ちで政治について発信することは、奈良の未来にとって必要なことです。	
まさに皆さんの政治への関心、参加が何よりも必要です。	

質問事項	回 答
14 奈良の遺跡問題についてどう思いますか？	住居の新築や建替え時の発掘調査が負担になる場合もある。
	奈良は1300の歴史のある町です。伝統や文化を守るのと同様、遺跡は先人達の努力や工夫を伝える貴重なものだと考えます。が、一方で保護の観点から現在住む住民にとって不便を強いるケースもあるでしょう。遺跡の保護と現在に住む他人の生活との調和、共生が大事だと思います。
	奈良市は遺跡や遺物の宝庫であるがそれゆえに開発事業に伴う発掘調査に時間がかかり開発が遅れてしまう問題と出土物の利活用や保管場所の問題があると思われます。遺跡に関しては地主の負担が大きく負担軽減を望む声も多い、遺物に関しては調査に重きがおかれ観光資源としての利活用ができていない現状があると思われる。
	遺跡のなんの問題かわかりません。
	奈良には日本の中でもとっても貴重な遺跡がたくさんあります。日本や世界のみなさんに、この遺跡にふれていけるように、保存や伝えていく必要があると強く思っています。
	すみません。遺跡問題が、具体的に何を指しているのかがわかりません。
	奈良市は街全体が世界遺産という恵まれた環境にあり、歴史的な価値を子どもたちに伝えていく必要がある。
	すみません。わかりません。
	他の地域にはない大きい財産だからこそ、しっかりと地域として活用していく必要がある。
	大事な遺跡が守れないこともある。国の法律でもっと守って欲しい。
	遺跡発掘により開発が遅れる問題もあるが、奈良にしかないリソースをどう活かすのかを考える方がよいと思う。
	ノーコメント
考え方が多岐にわたります。保存と活用について、今一度検討する場が必要です。	

質問事項	回 答
<p>15 生徒会長を経験し、意見を集約し、発信することの重要性を知った。例えば地域の安全について要望が出た場合、解決をしていく具体的なステップを知りたい。</p>	<p>熱意と決断力 調査研究・意見提案</p>
	<p>強い信念を持ち真面目に物事に取り組み決して嘘をつかない事で信頼を得ること</p>
	<p>どのような要望かによりますが、まず行政側の担当部署を確認しそこへ相談に行っていくかがでしょうか。また、地域の自治会の方や自主防犯組織の方に相談してみるのも一手かと思えます。</p>
	<p>雑駁になりますが私ならば要望されている「安全」について、それに影響を及ぼしている原因と要因を掴む。そして、それはお金をかけて解決できることか、もしくはお金をかけなくても解決できることかなど整理する。また、地域の方の「安全ニーズの度合(人数や優先順位)」も整理して「どのように取り組むのか」も整理する。「自・互・共・公」の対応カテゴリーを分類化する。自助や互助、共助のカテゴリでは、地域の活動で対応可能とするために、会議やセミナーにより理解を醸成し、紙ベースやインターネットを利用して情報発信していく。公助の場合は、行政機関に具体的に論点整理して要望事項をまとめて行政機関に陳情する。ご質問のステップには、比較的短期でできることと、数年という長期にわたることなどがあると思われることから、根気が必要と思慮します。雑駁でありますがこのようなことが考えられます。</p>
	<p>リーダーシップについては、個人的にリーダーシップがある方ではないのでよくわかりませんが、世の中にはいろんな人がいて、それぞれ自分の役割や得意なフィールドがあるというのを認識することが第一歩だと思います。課題解決のステップは、まず聞くことだと思います。ただ聞くだけじゃなくて、傾聴です。傾聴の質が全てだと言っても過言じゃないです。「犬」っていわれて、チワワを思い浮かべる人もいれば、ドーベルマン思い浮かべる人もいます。その辺の認識を合わす作業を繰り返すことだと思います。</p>
	<p>周囲への根回し。周りの議員さん方や、市の担当課と連携して訴えかける。</p>
	<p>人の意見を聞くこと。新聞やニュース等、よく社会を理解し、すぐには解決できずとも、時間をかけると解決の方法が見えてくる。</p>
<p>リーダーシップの取り方は色々あり、自分が先頭に立つやり方もある。皆を後押しするやり方もある。周りを巻き込み、動かすにあたって、自分の得意なやり方でよいと思う。また、リーダーシップとは別に、オーナーシップという考え方を試みては。具体的なステップは、調査→仮説立て→現場・行政の巻き込み(できるだけ広く)→方針決定→予算確保。</p>	